



チームリーダー  
浅岡 裕



主任  
高橋 拓也

浜通り復興に  
向けたメッセージ

再エネ導入拡大のソリューションを確立し、福島県発の技術として全国へ展開、日本のゼロエミッション化に貢献すべく邁進して参ります。

地域への再エネ導入拡大に貢献する  
リユース蓄電池システムの大規模化技術の開発

# 一石三鳥！蓄電池が浜通りの電力インフラの課題を一挙に解決できるデジタル技術を実現

浜通り地域の再エネ導入拡大における課題 1.送電線に繋げない 2.需給調整コストが高い  
3.地産地消が進まない これらを同時に解決する高度システム「マルチユースEMS」を開発します。

**開発背景**  
浪江町をはじめとする福島エリアは送電線網が既にひっ迫しており、再エネの追加導入が容易ではありません。蓄電池を設置し地域で再エネを活用する事に加え、電力市場など複数の用途に用いる、次世代型電力サービス実現を目指します。

**実施期間** 2021~2023年  
**実用化開発場所** 浪江町  
**連携自治体** 浪江町

**実用化開発の目標**

実用化時期	令和6年度(2024年度)
販売製品・サービス名	「マルチユースEMS」(蓄電池を複数用途に活用するシステム)
成果物(最終年度)	マルチユースEMSの機能開発及びエネルギー準備会社を設立。以下を解決します。 ・福島送電で生じている送電混雑の課題 ・再エネの地産地消 ・福島を含む東北エリアの需給調整力不足
創出される経済効果	・浜通り地域への再エネ投資拡大 ・大規模送電線増強に代わる、地域主導の蓄電事業への設備投資、及び、蓄電・エネルギーサービス事業に関わる雇用の創出

**浜通り地域への経済波及効果**  
デジタル人材の確保と、福島送電/FH2Rの関係者との調整がつけば、最低5名の雇用、50億円規模のBattery Station建設の計画あり。第1・2期成果の大型蓄電システムと、マルチユースEMSを用いた、全国100MW級の事業を創出します。

**開発のポイント**

要素技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>AI/DX技術を用いた電力市場での運用など複数のユースケースでの大型蓄電池運用を想定した「マルチユースEMS」</li> <li>既設の蓄電池・太陽光システムを使った動作検証</li> <li>国の安全基準に即した蓄電池の安全性評価</li> </ul>
開発のポイント	1つの蓄電池を複数用途できるため、蓄電池の投資回収が早期に完了できます。これにより蓄電池の投資のハードルが下がり、再エネ導入拡大に貢献する機会が増えると考えます。

**これまでに得られた成果**  
成果：マルチユースEMSとその実用性確認的財産権：2件(権利化手続き中)  
開発技術：蓄電池を、系統用・需要家用へマルチユース可能とする「マルチユースEMS」  
代表的な企業・連系自治体：当社の事業会社であり地元企業である、4Rエナジーと昨年共同で技術開発及びエネルギーサービスを提供。福島県を通じて、福島送電と連携協議中です。

## 住友商事株式会社

福島県双葉郡浪江町大字藤橋字亀下63番2  
☎ 070-2350-5649 (担当：高橋拓也)  
✉ takuya.takahashi@sumitomocorp.com

**投資規模** 10億円以上  
**開発人数** 10~29名  
**販売時期** 令和6年度(2024年度)  
**販売形態** 大型蓄電システムを活用した「蓄電事業」を創出し、電力安定化のニーズに応えるエネルギーサービスを提供  
**販売見込先** 全国の再エネ導入に課題を抱える地域において、大型蓄電事業の計画が複数具体化しています。  
**協業希望先** 地元の再エネ・小売等の電力事業者、データ分析・最適化の技術を持った大学・研究機関・企業

